

# わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

私たち諏訪市社会福祉協議会は、「ふだんのくらしのしあわせ」を地域に広げていくことを目指し、地域福祉の推進に取り組んでいます。

社会福祉協議会というと、介護や福祉サービスの事業所というイメージを持たれる方も多くありません。実際に、湯の里(四賀)や西山の里(湖南)を拠点として、デイサービスやホームヘルパー、訪問入浴、ケアマネジメントなどの介護保険サービスを実施しています。また、さぎ波の家(清水)といきいき元氣館(小和田)では、障がいのある方への通所支援や就労支援事業なども行っています。しかし、介護や障がい福祉のサービスは、現在では多くの事業者が担っています。その中で、社協の役割は、「福祉の地域づくり」にあります。

地域での見守りや支え合い活動、ボランティア活動の推進、暮らしの相談、成年後見制度を含む権利擁護支援など、制度だけでは支えきれない暮らしに寄り添いな



がら、人と人とのつながりを通して地域を育てていくことも、社協の大切な役割です。

また、諏訪市では、地域医療・介護連携推進センター「ライフドアすわ」と連携し、「生活支援コーディネーター」を社協に配置しています。介護や障がい福祉などのサービス提供とともに、地域の支え合い活動や住民同士のつながりづくりを進めることで、諏訪市全体で支える地域包括ケアシステムの推進に取り組んでいます。そして、医療・看護・介護に関わる多職種との連携も大切に行っています。

社協の活動は、福祉サービスを

# ふだんの暮らしを支える 地域のつながり

お ゆき い さくら  
桜井 幸雄

諏訪市社会福祉協議会事務局長

利用している方だけを対象としたものではありません。子どもから高齢者まで、地域に暮らすすべての住民の皆さんが対象であり、また、市民の皆さんに地域福祉活動

地域づくりの担い手でもありま



住民と多職種によるワークショップを通じた地域づくりの話し合い

へ参加いただいています。「できることを、できる範囲で」。そんな小さな参加の積み重ねが、地域の支え合いにつながっています。社協では、住民会員制度を通じて、市民の皆さんに地域福祉活動

近年では、高齢化や単身世帯の増加により、身寄りのない方への支援など、新たな課題も増えています。そうした中で、地域とのつながりづくりや、困りごとを抱えた方への早期の相談支援、必要な方のもとへ出向いていく支援の重要性も高まっています。これは、社協がこれまで地域の中で積み重ねてきた活動そのものでもあります。

私たちは諏訪市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する団体として、子どもから高齢者まで、すべての人々が、ふだんの暮らしの中で幸せを感じられるまちづくりを、これからも地域の皆さんとともに進めてまいります。

次回は7月12日掲載予定